

第 17 回薩摩川内市行政改革推進委員会 会議録

開催日時	平成 30 年 11 月 12 日(月) 10:00～12:30	
開催場所	薩摩川内市役所 里支所 旧村長室	
出席者	委員	外菌会長、仙波副会長、宮元委員、石原委員、小平委員、白男川委員
	事務局	行政改革推進課職員
	傍聴者	なし

□ 会次第

開会	主管課・室
1 開会	
2 補助金等評価	
(1) 就学支援補助金	企画政策課
(2) 婚活支援事業補助金	ひとみらい政策課
(3) 予防接種等補助金	市民健康課
(4) 放課後児童クラブ施設整備補助金	子育て支援課
(5) 販路拡大支援事業補助金	六次産業対策課
(6) 農商工連携促進事業補助金	六次産業対策課
(7) 六次産業化支援事業補助金	六次産業対策課
(8) 若者ふるさと就労促進奨励金	商工政策課
(9) 中小企業等人材育成支援事業補助金	商工政策課
(10) 退職金共済制度加入促進補助金	商工政策課
(11) 中小企業連携トライアル事業補助金	商工政策課
(12) 創業支援事業補助金	商工政策課
(13) 地球にやさしい環境整備事業補助金	次世代エネルギー課
(14) 全日本バレーボールチーム強化合宿招へい事業補助金	スポーツ課
3 閉会	

□ 議事

1 開会

○ 会長

(挨拶)

2 補助金等評価

(1) 就学支援補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○委員 補助制度ができてから 2 年目。まだ学生は卒業していないのか。

●事務局 お見込みのとおりである。

○委員 補助金交付内訳を見ると、一人当た

りの金額が15～35万円と開きがあるのはなぜか。

●**事務局** 学部ごとに入学金が異なっているためである。

○**委員** 29年度の実績28人に対して約800万円の補助金を交付している。補助金を受けた学生が少ないのではないか。また、成果指標の目標値70人に対して、平成30年度の予算額が少ないのではないか。

●**事務局** 市内に住所を有する方が対象となっているためである。また、成果指標の目標値は、総合戦略の目標値25人を既に達成しているため、平成31年度以降、主管課は補助制度の要件拡大を検討している。

○**委員** 参考までに、鹿児島純心女子大学には学生が約150～160人在籍している。

●**事務局** 残りの学生は市外の学生で、市としては若者流出の抑制を更に進めるため、地元に住んでいただきたいと考えている。

(まとめ)

○**会長** 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**会長** 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「見直しの上で継続」で「拡大」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

2 補助金等評価

(2) 婚活支援事業補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○**委員** 補助金交付を受けるのはどのような団体でも良いのか。

●**事務局** 結婚のための活動を支援する事業を行うものであれば、どのような団体でも可能である。資料の中に商工会青年部祁

答院支部の婚活パーティーの様子を添付している。

○**委員** 成果は出ているのか。

●**事務局** 3回のイベントで15組のカップルが成立している。

○**委員** テレビ番組と提携し、薩摩川内市全体のイベントとして開催できると市のPRにもなると思う。

●**事務局** 一番はきっかけづくり。本市でも晩婚化と未婚化が進んでおり、出会いが少ない独身の男女に出会いの場を提供することが目的である。

○**委員** 甕島は男性より女性が少ないため、婚活に支援を行っていただくのはとてもありがたい。

○**委員** 商工会青年部祁答院支部の事例では、事業費20万円に対して、4万円しか補助がない。上限額は10万円なのに理由はあるのか。

●**事務局** 参加料は補助対象外のため、差し引いて計算しているためである。

○**会長** 少子化の要因となっており、日本全体の課題でもある。成果を出すためには、数を打って継続していくしかないと思う。

(まとめ)

○**会長** 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**会長** 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**委員** 結果報告が重要である。成婚があったかどうかを把握すべきである。

○**会長** 商工会青年部等が主催すると成婚まで見届けるのは難しいため、何かしらフォローしていく方策が必要ではないか。

○**会長** まとめに記載したい。

2 補助金等評価

(3) 予防接種等補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○委員 補助率はどのようにして決めているのか。接種率を高めるためには、補助率を上げた方がよいと考えるがどうか。

●事務局 補助金交付要綱の別表第1・2を参照していただきたい。市としての基本的な考え方としては、予防接種等を受けやすい環境を整備し、保健福祉の向上に寄与することが目的であるため、ある程度の自己負担は必要ではないかと考える。なお、平成29年度の接種率は91.3%で、総合戦略の目標値90%以上を上回っている。今後も、広報紙等への掲載による周知と医療機関への協力依頼をしていきたいとのことである。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

2 補助金等評価

(4) 放課後児童クラブ施設整備補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○委員 市内に小学校は何校あるのか。

●事務局 平成29年4月1日現在で30校である。

○委員 8クラブにしか補助金を交付していないのはなぜか。

●事務局 本補助金は放課後児童クラブの新規設置や環境整備のための補助金であり、平成29年度は8クラブが利用した。

運営のための補助金は別途交付している。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

2 補助金等評価

(5) 販路拡大支援事業補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○委員 平成28年度から補助制度を開始したとのことである。目的は何か。

●事務局 共販外の販売を主とする農業者等に農産物の販路拡大や販売促進活動に対して補助するものである。六次産業対策課が所管となっており、所得向上と経営安定の観点から、自ら育てた農作物を加工、販売まで関与していただくことが目的とである。

○委員 補助金の上限額はいくらか。実績が少ない理由は何か。

●事務局 補助率は2分の1で、上限額10万円である。事業を広げていくためには、ある程度の資金を投入できる事業者でないとできないと考えている。なお、平成30年度からは農業法人も対象となるような改善を行っている。

○委員 市としては、どのくらい六次産業化に力をいれているのか。

●事務局 部長級の職員を配置し、事業展開を図るなど、かなり力を入れている。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価で

よろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

2 補助金等評価

(6) 農商工連携促進事業補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○委員 農商工で連携する事業のうちどのようなものが対象となるのか。

●事務局 機械購入費、販路開拓費等が補助対象となっている。

○委員 事業費のどれくらいが補助金として交付されるのか。

●事務局 農林漁業者であれば100万円を上限に2分の1、商工業者であれば300万円を上限に2分の1が補助率となっている。ある程度の資金力と意欲がある事業者に対し、ビジネスチャンスを見逃さないように創意工夫に応じて補助するものである。

○委員 元気がある事業者でないとできない事業である。事例にある里町の馬場水産加工場は、地域でもかなり頑張っていると聞いている。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

2 補助金等評価

(7) 六次産業化支援事業補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○委員 この補助制度は市としてどのような位置づけか。

●事務局 六次産業化を促進していく上で、とても重要な補助制度であるとの認識である。

○委員 事業者が失敗した時の対応はどのように考えているのか。

●事務局 事業者に提出していただく六次産業化実施計画はかなりハードルが高いと聞いている。これまでの11件を承認し、事業がとん挫したとの話は聞いていない。

○委員 どのようなものが補助対象となるのか。

●事務局 補助金交付要綱の別表に記載しているものは対象となっている。具体的には、調査研究開発費、販路開拓費、機械等購入費、施設整備費、事業推進費等である。

○委員 主管課評価にC評価があるがなぜか。

●事務局 本来ならば、民間が直接資金ですべきと判断し、厳しく自己評価していると理解している。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

2 補助金等評価

(8) 若者ふるさと就労促進奨励金(書類審査)

(質疑・協議)

○委員 出身はどこでも支給されるのか。

●事務局 市内の事業所に正規雇用として就労された場合は、どこの出身者であろう

と支給される。なお、一人につき奨励金は10万円で、甌島地域の就労した場合は30万円となっている。

○委員 市が奨励金を支給する理由は。

●事務局 少しでも市内企業への就職を促し、県外又は市外に転出しないようにするためである。

○委員 市内にあるA企業を辞めてB企業に就職した場合、奨励金は支給されるのか。

●事務局 支給される。ただし、生涯1回限りとなっているので、A企業に就職した際に交付を受けていない場合はB企業で受け取ることができる。

○委員 奨励金は誰に支給しているのか。

●事務局 交付対象が若者等となっているので、個人に支給しているのではないか。

○委員 就職支度金的な取扱いではないか。

○委員 卒業後または転入後1年以内に市内企業等に就労し、就労時に満30歳未満の方が対象で、甌島地域に限っては満50歳未満となっている。

●事務局 平成30年度から若者等を採用した中小企業等への支給を廃止し、甌島地域の企業等に就労する若者等への奨励金を増加させ、年齢要件を緩和するなど、事務改善を行っている。

(まとめ)

○会長 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

○会長 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と異なり、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○委員 異議なし

2 補助金等評価
(9) 中小企業等人材育成支援事業補助金(書類審査)
(質疑・協議)

○委員 書類審査ではなく、主管課を呼んでヒアリングを実施したい。

●事務局 次回の委員会で調整する。

(まとめ)

○会長 主管課から説明を聞いたうえで評価したい。

○委員 異議なし

2 補助金等評価
(10) 退職金共済制度加入促進補助金(書類審査)
(質疑・協議)

○委員 書類審査ではなく、主管課を呼んでヒアリングを実施したい。

●事務局 次回の委員会で調整する。

(まとめ)

○会長 主管課から説明を聞いたうえで評価したい。

○委員 異議なし

2 補助金等評価
(11) 中小企業連携トライアル事業補助金(書類審査)
(質疑・協議)

○委員 市内企業が連携し、新製品開発を行ったものがあるのか。

●事務局 具体的には、「黒豚みそ(くろぶたみそ)」や「西郷どれ(せごどれ)」である。

○委員 企業版ふるさと納税とは何か。この事業との関連は。

●事務局 財源に活用しているということである。

○委員 市内だけでなく、市外や県外企業間の連携を市が調整したらもっと良いものができるのではないか。市が仲介し、発展させていく仕組みづくりを検討してほしい。

●事務局 企業連携協議会が発足しており、将来的には、そのような調整を同協議会で

実施していくのではないか。

○**会長** 平成29年度は2社実績が上がっている。今後を期待したい。

○**委員** 市内にある数百社のなかで2社しかなかったのかとの印象である。もっと頑張してほしい。

(まとめ)

○**会長** 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**会長** 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**委員** 市内だけでなく、市外や県外企業との連携を視野に、事業展開していく仕組みづくりを検討されたい。

○**会長** 企業連携協議会を中心に今後の在り方を検討されたい。

○**会長** まとめに記載したい。

2 補助金等評価

(12) 創業支援事業補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○**会長** 補助金の目的や趣旨すべてに賛同できる。

○**委員** 有効活用されたい。

(まとめ)

○**会長** 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**会長** 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

2 補助金等評価

(13) 地球にやさしい環境整備事業補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○**委員** 書類審査ではなく、主管課を呼んでヒアリングを実施したい。

●**事務局** 次回の委員会で調整する。

(まとめ)

○**会長** 主管課から説明を聞いたうえで評価したい。

○**委員** 異議なし

2 補助金等評価

(14) 全日本バレーボールチーム強化合宿招へい事業補助金(書類審査)

(質疑・協議)

○**委員** 平成29年度実績はなかったのか。

●**事務局** お見込みのとおりである。合宿に来なかったためである。

○**委員** 補助金はどのようなものに使われているのか把握しているのか。

●**事務局** 鹿児島・東京間の片道旅費相当分である。日本代表チームが本市で合宿を行う意義はとても大きい。公開練習や紅白戦などの試合へ市内外からの観光客が訪れたり、小中学生向けに教室を開催したり、その影響は多岐にわたる。

○**委員** 合宿招へい補助金の効果は大きいと感じる。引き続き招へい活動に尽力されたい。

(まとめ)

○**会長** 本補助金の外部評価の視点別評価について公益性、必要性、有効性、適格性・妥当性は、いずれも「高い」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

○**会長** 今後の改革の方向性として、外部評価は内部評価と同じで、「現状のまま継続」という評価でよろしいか。

○**委員** 異議なし

3 閉会

○事務局

(挨拶)